

長浜城歴史博物館協議会議事録

平成20年11月6日(木) 13:00～

出席者：嶋田委員・岡田委員・大橋委員・小和田委員・木村委員・真壁委員・田中委員
中島館長・森岡副参事・太田副参事・山口

13:30開会

司会：森岡

司会：それでは定刻になりましたので、ただ今から平成20年度長浜城歴史博物館協議会を開会いたします。皆様方にはご多用のところをご参集賜り厚くお礼申し上げます。私は本日の司会を担当いたします森岡です。どうぞよろしくお願いいたします。長浜城歴史博物館館長の中島からあいさつもうしあげます。

館長：本館の運営にご協力いただきありがとうございます。開館25周年特別展示を開催しております。昭和58年の開館以来、秀吉博や博物館の改修などいろいろなことがありました。本館が基本方針としている郷土の博物館、観光施設としての両面を調整していきながら運営していくという方法が定着してきたように思われます。限られた時間ではありますが、委員の皆様の意見を聞きこれからの博物館運営に反映していきたいと思っております。

司会：引き続きまして、委員の改選に伴い、博物館条例第10条の規定に伴い会長と副会長を選任したいと思います。会長と副会長の任期は2年となっております。どうでしょうか？

委員：館長一任でお願いします。

館長：博物館協議会は館長の諮問であるのに館長が意見を述べさせていただくのは大変恐縮なのですが、博物館協議会をスムーズにすすめさせて頂いてきましたので、再び任をお願いしたいのですが、どうでしょうか。まことに不躰ですがいかがでしょうか。

委員：留任を承諾します。

司会：ただ今、留任の承諾をいただきましたので、会長を嶋田委員、副会長を大橋委員にお願いします。申し訳ありませんが、会長席へお願いします。続きまして会長からあいさつをお願いします。

会長：ご指名いただきまして恐縮しています。何事も不慣れで申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

司会：ありがとうございました。それではただいまから議案審議に移りたいと存じます。議長の選出ですが、条例第10条の2に「会長は、会務を総括し会議の議長となる」とありますので、嶋田会長に議長をお願いいたします。それでは嶋田会長をお願いします。

議長：それでは、議事に入らせていただきます。終了時間16時となっておりますのでよろしくお願いいたします。平成20年度事業についてまずは特別展からお願いします。

太田：それでは、展示室へ移動をお願いします。

～2階・3階展示説明～

議長：特別展の講評をお願いします。

小和田委員：浅井氏関係が一同にこれだけ集められたという展示は、25年をかけた力の入った展示だなと思って拝見させていただいた。また、養源院蔵の崇源院像と浅井長政像は初めて見せてもらったが大変貴重な史料である。先ほど、太田さんもおっしゃったように単に文書だけでは一般の人はなかなか興味をもてないが、画像や甲冑を合わせて展示して体験してもらえることがとてもいい展示にしている。すばらしいものを見せて頂いた。

木村委員：文書があって画像がない、文書がなくて画像がある展示はよくあるが、この展示は立体的にみられるということはとてもすばらしい。

議長：このような史料は、地元にはないのか。

太田：古文書については、把握できている。しかし、美術的なものや家臣に画像については日頃から気をつけて

いないとわからない。

議長：本人が持っていることに気づいていないことがある。

木村：この長浜城歴史博物館 25 年の中で「一向一揆」について取り上げたことがないように思うので、長浜の歴史、信長、秀吉らに重ねて「一向一揆」についての展示を行ってほしい。

館長：貴重なご意見ありがとうございます。今後の展示に反映させていきたいと思います。

議長：続きまして、20 年度事業について説明をお願いします。

太田：展示企画展、特別陳列の説明、今年度は、燃料費の値上げなど社会現象に影響され昨年度の入館者数を下回る心配がありましたので、戦国ブームを考え「石田三成」を全面に出した展示を行い、それとともに郷土を中心とした展示を行いました。その結果、8 月には昨年を上回る入館者を確保することができました。また、9 月、10 月が昨年度の来館者を下回った原因として、今年度は特別展の期間外であったことが考えられます。つまり、来館者の増減は特別展示の開催が深く関わっていると考えられる。博物館実習では学芸員を育てるための実習、市内の中学生の職場体験などを快く受け入れています。出前講座は昨年 150 件で今年度は上半期で 74 件、4,120 名の受講がありました。

友の会事業の報告ですが、展示費用は市が負担し、講演会等は友の会共催事業で行うようになってきています。友の会は博物館にとってとても重要な役割を果たしています。現在は企画運営ボランティアによって、講演会など開催時の大きな力となっている。

講演会や臨地見学会は、企画運営ボランティアによって計画されている。

議長：出前講座はどのくらい割合をしめしていますか

館長：10 月では、20 日くらいは出前講座にでている。土曜日の夜が多く 3 人の学芸員が同日にでているということもある。大変ではあるがこちらから話を伺うメリットがあるのでありがたい。

小和田委員：そういう場で地元が持っている知識を引き出すということでは、有意義なことだと思いますが、これだけで講演を行うのは、とてつもなくたいへんなことということはわかります。

木村委員：私は、協議会に毎回出席させて頂いていますが、毎回事業が増えているが、体や家族共々大丈夫ですかと心配しています。研究調査ということで、市民サービスが入っていますが今後どうなっていくのか？少ない学芸員で対応していけるのか心配である。このような実績を市当局へわかりやすく示していくかということも必要かと思う。友の会費はおいくらですか。

太田：普通会员 2,000 円・研究会員 3,000 円・家族会員 3,500 円です。

木村委員：これだけの事業を行っている友の会の会費にしては安いと思います。もう少し高くてもいいのではないかと。ところで、石田三成がこれだけ人気があるのはなぜですか。

太田：全体に戦国ブームであることは間違いないのですが、石田三成は最初はゲームの中に出てくる三成が人気があったのですが、最近、石田三成の生き様が好きという人が増えている。今の社会に忠義ということが欠けている。石田三成は、どんなバッシングされても自分の意志を貫いたということが人気があるとともに、文書の説明をすると喜んで聞いているという本物志向もあります。

木村委員：石田三成が見直されている理由が少々わかりました。

小和田委員：今の変な世の中だから、まっすぐ生きた三成に人気がある。どうして若い女性に人気があるのかはわからない。来年の NHK の大河ドラマでも忠義を前面にだしていると言っている。

大橋委員：こんな少ない人数で、これだけの事業を行って予算はどうなっているのですか。

館長：予算は厳しい。市の歳入が 3 億円落ち込むであろうとされているなか、年間 14 万人の入館者がありますので、それに見合った予算をつけてくれるよう要求しています。またいろいろな講演会費用は友の会からだしています。来年は大河ドラマ「天地人」で 20 万人をめざしています。入館者を反映し予算を要求していこうとしています。

木村委員：文化の発信の拠点ということを訴えていきます。「行政の文化」化するまち行政の人すべてが文化が

大事であるということを知ってもらおうと思うと、館長の姿勢がかなり重要になっていく。また、中学生3年になったら必ず博物館へ行くことを必須にしてはどうでしょう。

真壁委員：中学生には内容が専門的すぎるかなと考えたり、しかし小中学生から育てていけないといけないしと葛藤しています。

議長：それでは21年度の計画の説明をお願いします。

森岡：特別展「糸の世紀・織りの時代～湖北・長浜をめぐる糸の文化史～」(仮称)

企画展『西軍の関ヶ原合戦』の説明

太田：中川泉三没後70年記念展の説明(この展示は5館共同で行う)

木村委員：大河ドラマにかけての資料の争奪戦は大変だと思います。「史学は死学にあらず」というのは、中川泉三さんの言葉ですか。

太田委員：そうです。安土城の保存や歴史を現代にどのように残すかも考えていたので、そのあたりもアピールしたいと思います。

小和田委員：章齋文庫には本人のメモなど残っているのですか。

太田：そうです。残っています。史学史の宝庫です。

木村委員：専門的にはとても素晴らしいのですが、果たして一般の人はどうか？ということですね。果たしてどのような展示になるか期待しています。

議長：時間も迫ってきましたので館長なにかありませんか。

館長：21年度の計画を申し上げましたが、長浜城の思いとして、お客さんと呼べること、学芸がしっかり勉強できること。博物館の目的は決して入館者数と思っておりませんが有効な手段として活用していきたいところです。さて、9月23日に仕分け事業で長浜城の経営がのせられました。長浜城がのせられたことについて当初とまどいがありました。積極的に受け取り長浜城の経営を明確に市民に知っていただくよい場と受けとり、職員一同調査研究して市民の審判を受けました。市民からはたいへん好意的な言葉をいただき、今の直営の立場で経営を行い、自分たちの大事な文化財産を守ってほしい。管理原課として市内の資料館を束ねて行ってほしい。しかし他の資料館については指定管理で経営を行って欲しいなどの意見をいただきました。

議長：これをもちまして第1回博物館協議会の全ての議事を終了いたします。慎重にご審議いただき提案事項いづれも議案どおり決議いただきました。議事進行につきましては、皆様のご協力により無事職責を果たすことができました。誠にありがとうございます。これで議長を退任させていただきます。

司会：嶋田会長ありがとうございます。また長時間ご審議いただきありがとうございます。引き続きまして資料の内覧にうつりたいと思います。

内覧会資料

- ・片桐且元文書
- ・山水美人図 三幅

館長：終わりのあいさつ